

記入例

事業所 37
株式会社 サニービア
氏名 健保 太郎 様
記号 番号
印字内容をご確認いただき、変更・訂正がある場合は、二重線(=)で抹消し、赤字で記入してください。

健康保険被扶養者確認調書 令和8年8月14日 10頁 (UM75AAEH-01) (N)

被保険者欄

事業所 37 株式会社 サニービア
記号 37 フリガナ ケンボ タロウ 氏名 健保 太郎
番号 12345
性別 男 生年月日 昭和40年 4月 1日
資格取得年月日 平成 5年 4月 1日 標準報酬月額
住所 〒650-0024 兵庫県神戸市中央区〇〇 1-1
自宅 078-〇〇〇-〇〇〇〇 携帯

赤(太)枠内を黒字でご記入ください。

下記に記載されている被扶養者について確認願います。

	フリガナ氏名	性別	認定年月日 生年月日	年齢	続柄	税法上の扶養家族で 職業・学校・学年	年金受給者で	年間収入	同居別居 区別	備考	健保使用	
被扶養者欄	ケンボ ハナコ	女	平成20年 6月 1日	56	妻	有 無	有 無	90万円	同 別			
	昭和45年 3月 1日		無			パート						無
	健保 花子	住所	〒650-0024 兵庫県神戸市中央区〇〇 1-1 自宅 078-〇〇〇-〇〇〇〇 携帯									
	ケンボ ハナエ	女	平成 5年 4月 1日	72	母	有 無	有 無	80万円	同 別	年金：老齢(65万)企業(15万) 同居者なし		
	健保 花江		昭和29年 4月 1日			無						無職
	ケンボ ジロウ	男	平成17年 5月 1日	21	子	有 無	有 無	0円	同 別	R5.1.1就職、 R7.9.30退職/雇用保 険加入なし		
	健保 次郎		平成17年 5月 1日			無						〇〇大学2回生
		住所	〒104-8004 東京都千代田区〇〇2-〇-〇〇ハイソ201号室 〒650-0024 兵庫県神戸市中央区〇〇 1-1 自宅 078-321-1241 携帯									

【確認欄／ご回答ください】被保険者の配偶者（有・無） 被保険者が被扶養者と別居の場合（単身赴任・個人都合）
●印字内容を確認し、被扶養者欄および1行目【確認欄】に記入・回答のうえ必要書類とともにご提出ください。※詳細は下欄
当組合ホームページ「2026年8月31日 | 健康保険被扶養者資格の再確認（令和8年度）」について
次 の 事 項 に つ い て ご 回 答 く だ さ い 。
・被保険者の配偶者の有無について
・（別居している被扶養者がいる場合）その理由について
※印字内容の訂正・変更等については別途お届けが必要な場合があります。事業所担当者へお申し出のうえ指示を受けてください。
●提出期限：令和8年9月30日（水）健康保険組合必着 ※社内提出期限をご確認のうえ事業所担当者へご提出ください。

令和7年中に給与収入があり、現在は退職して収入のない方は、「入社年月日」「退職年月日」「雇用保険加入の有無」を記入してください。

確認欄: 該当する方を○で囲んでください。
同居の場合、「被扶養者と別居の理由」について回答は不要です。

税法上の扶養家族欄: 該当する方を○で囲んでください。

※税法上の扶養親族とは
所得税納税者(被保険者)と生計を一にする合計所得が所得税法上定められた一定以下の6親等内の血族と3親等内の姻族の人です。

職業・学校・学年欄: 具体的に記入してください。
「パート」「無職」「美容院経営」等を具体的に記入してください。
また、学生の場合は、「〇〇大学〇年生」「〇〇専門学校〇年生」と学校名と学年を記入してください。

年金受給者欄: 該当する方を○で囲んでください。
受給している方は、課税、非課税に関わらず年金の種類を備考欄に記入してください。

年間収入欄: 今後1年間で見込まれる収入の総額を記入してください。
今後収入が見込まれない場合は、「0円」と記入してください。
雇用・労災保険等の給付金、補償金等の支給を受けている場合は、備考欄の上半分に具体的名称を、下半分にその金額を、記入してください。

同居別居の区別欄: 該当する方を○で囲んでください。
別居の方は、「住所」欄にその被扶養者の郵便番号、住所、連絡先を記入してください。

備考欄: 適宜記入してください。
令和7年中に勤めていた方で現在退職している方は、「入社年月日」「退職年月日」「雇用保険加入の有無」を記入してください。

記入例

夫婦共同扶養における配偶者年収等確認票

被保 配偶者の有無をご回答ください

事業所名	株式会社 サニーピア	記号 - 番号	37 - 12345	被保険者氏名	健康 太郎
------	------------	---------	------------	--------	-------

配偶者の有無および就労・年間収入状況（記入欄）

配偶者の有無	[☒] 有（現在も配偶者がいる） / [☐] 無（未婚・離婚・死別等により現在は配偶者なし）
--------	---

「有」を回答された方は以下の書類を添付してご提出ください

表を参考に必要な添付書類をご用意いただき、この「確認票」とともに事業所担当者様へ提出ください

「夫婦共同扶養における年収等確認票」に添付する書類

被保険者とその配偶者それぞれの収入に応じて、以下の添付書類をご用意ください。収入が、「給与収入」「給与以外の収入」の両方ある場合は、両方の添付書類が必要です。

※提出いただいた書類で判定ができない場合、別の書類を求めることがあります。

●収入が「給与収入」の場合

今後1年間の収入について、以下にあてはまるものを被保険者および配偶者それぞれをご用意ください。

今後1年間の収入額が	添付書類の例（いずれか）	注意事項
前年中（1～12月）の収入と、同程度を見込む場合	・令和7年分の源泉徴収票 ・令和7年分の所得証明書 ・令和7年分の住民税決定通知書	被保険者・配偶者双方の書類が必要
現時点での収入と、同程度を見込む場合	・直近3ヶ月分の給与明細書等	
・前年や現時点と異なる収入を見込む場合 ・現時点で実績がない場合	・お勤め先の事業主発行の収入見込証明書等	

給与収入以外にも収入がある場合は、右表「●収入が「給与収入以外」の場合」のあてはまるものも必要です。

●収入が「給与以外」の場合

該当する収入に応じて、以下にあてはまるものを被保険者および配偶者それぞれをご用意ください。

今後1年間の収入が	添付書類の例（いずれか）	注意事項
年金収入	・直近の振込通知書 ・直近の年金証書	被保険者・配偶者双方の書類が必要
失業・休業等補償給付	・直近の支給決定通知書等（給付額がわかる書類）	
・事業収入 ・不動産収入 ・投資収入 ・雑収入 等	・令和7年分確定申告書 第一表、第二表、収支内訳書の控え（3点）	

給与収入もある場合は、左表「●収入が「給与収入」の場合」のあてはまるものも必要です。

必要な添付書類について

「被扶養者確認調書」に添付する書類			
「●被扶養者の収入を確認する書類」「●被扶養者の現況を確認する書類」について、各被扶養者にあてはまるものをそれぞれご用意ください。 ※提出いただいた書類で判定ができない場合、別の書類を求めることがあります。			
●被扶養者（家族）の収入を確認する書類 各被扶養者に以下の収入がある場合はそれぞれ添付書類が必要です。（一部添付不要の場合あり）			
収入の種類	添付書類の例（いずれか）	注意事項	
給与収入	全日制高等学校の生徒 上記以外	（添付書類不要） ・直近3か月分の給与明細 ・ 余白に交通費の支給年額を記入した令和7年分の源泉徴収票 ・「契約期間が1年以上の労働条件通知書等」＋「給与収入のみである旨の申立書」	給与の支払いを受けた人の名前がわかるもの ※所得・課税（非課税）証明書は不可
年金収入	・老齢基礎・厚生年金 ・遺族年金 ・障害年金	（添付書類不要）	確認調書に年金の種類と金額（年額）を記入
	・企業年金	・直近の振込通知書 ・直近の年金証書	
	・個人年金（民間生命保険会社等）	・給付金額がわかる書類	
失業・休業等補償給付	・雇用保険（失業手当、傷病手当等） ・労災保険（休業補償等） ・健康保険（出産手当金、傷病手当金）	・直近の <u>支給決定通知書</u> 等（給付額がわかる書類）	確認調書に給付金の種類と金額を記入
その他の収入	・事業収入 ・不動産収入 ・投資収入 ・雑収入 等	・令和7年分確定申告書第一表、第二表、 <u>収支内訳書</u> の控え（3点）	電子申請の場合は提出後の控えを印刷したもの
収入なし	令和7年中は収入があり、現在は収入なし	（添付書類不要）	7年中の収入が給与収入の場合は、確認調書に「入社日」「退職日」「雇用保険加入の有無」を記入
	令和7年～現在収入なし	（添付書類不要）	

必要な添付書類について

「被扶養者確認調書」に添付する書類		
●被扶養者の現況を確認する書類 各被扶養者が以下にあてはまる場合はそれぞれ添付書類が必要です。（一部添付不要の場合あり）		
・学生の場合		
被扶養者が	添付書類の例（いずれか）	注意事項
中学3年生以下	（添付書類不要）	
全日制高等学校の生徒	（添付書類不要）	確認調書に学校名と学年を記入
全日制以外の高等学校の生徒、専門学校生、大学生、その他の学生	・在学証明書 ・学生証（有効期限がわかるもの）	確認調書に学校名と学年を記入
・個人都合による別居の場合（単身赴任による一時的な別居などを除く）		
被扶養者が	添付書類の例（いずれか）	注意事項
学生	（添付書類不要）	
学生以外	・連続した直近3か月の仕送り額がわかるもの（振込明細写し、通帳写し、現金書留の控え等）	「振込人」と「振込先」がそれぞれ確認できるもの
・被扶養者の続柄が「妻・夫・子・養子」以外の場合		
その被扶養者との同居者が	添付書類の例（いずれか）	注意事項
・いない ・被保険者のみ ・同居者も被扶養者	（添付書類不要）	確認調書の備考欄に「同居者なし」と記入
被扶養者ではない	被保険者以外の同居者全員の ・令和7年分の源泉徴収票 ・令和7年分の所得証明書 ・直近3ヶ月分の給与明細書等	すでに被扶養者になっている同居者は添付不要 ※なお配偶者については「夫婦共同扶養における年収等確認票」に添付
・被扶養者の住民票が日本国内にない場合 ⇒被扶養者と認められません。ただし、以下のいずれかに該当する場合、被扶養者資格は継続されます。		
被扶養者が	添付書類の例（いずれか）	
外国において留学をする学生	ビザ、学生証、在学証明書、入学証明書等の写し	
外国に赴任する被保険者に同行する家族	ビザ、海外赴任辞令、海外の公的機関が発行する居住証明書	
観光、保護又はボランティア活動その他就労以外の目的で一時的に海外に渡航する家族	ビザ、ボランティア派遣機関の証明、ボランティアの参加同意書等の写し	
被保険者が海外に赴任する間に当該被保険者と身分関係が生じた家族（被保険者が海外赴任中に結婚した配偶者、生まれた子など）	（再確認時は添付書類不要）	

必要な添付書類について

「夫婦共同扶養における年収等確認票」に添付する書類

被保険者とその配偶者それぞれの収入に応じて、以下の添付書類をご用意ください。収入が、「給与収入」「給与以外の収入」の両方ある場合は、両方の添付書類が必要です。

※提出いただいた書類で判定ができない場合、別の書類を求めることがあります。

●収入が「給与収入」の場合

今後1年間の収入について、以下にあてはまるものを被保険者および配偶者それぞれをご用意ください。

今後1年間の収入額が	添付書類の例（いずれか）	注意事項
前年中（1～12月）の収入と、同程度を見込む場合	・令和7年分の源泉徴収票 ・令和7年分の所得証明書 ・令和7年分の住民税決定通知書	被保険者・配偶者双方の書類が必要
現時点での収入と、同程度を見込む場合	・直近3ヶ月分の給与明細書等	
・前年や現時点と異なる収入を見込む場合 ・現時点で実績がない場合	・お勤め先の事業主発行の収入見込証明書等	

給与収入以外にも収入がある場合は、右表「●収入が「給与収入以外」の場合」のあてはまるものも必要です。

●収入が「給与以外」の場合

該当する収入に応じて、以下にあてはまるものを被保険者および配偶者それぞれをご用意ください。

今後1年間の収入が	添付書類の例（いずれか）	注意事項
年金収入	・直近の振込通知書 ・直近の年金証書	被保険者・配偶者双方の書類が必要
失業・休業等補償給付	・直近の支給決定通知書等（給付額がわかる書類）	
・事業収入 ・不動産収入 ・投資収入 ・雑収入 等	・令和7年分確定申告書 第一表、第二表、収支内訳書の控え（3点）	

給与収入もある場合は、左表「●収入が「給与収入」の場合」のあてはまるものも必要です。